

登録コード	MA700100	開講年度	2026			
授業科目名	医療倫理学				担当教員	中込 さと子 他
英文授業名	Medical Ethics				副担当	福島 義光
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	土曜・1時限	対象専攻 / 学年
講義室	保健学科 2 1 1 講義室		授業形態	講義	授業科目区分	保健学専攻共通 / 1 年次
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					
	MS 2 6 カリ(保健学), MS 2 5 カリ(保健学), MS 2 4 カリ(保健学), MS 2 3 カリ(保健学)					
	【研究科共通】医学、保健学および関連諸科学の研究に対する理解に基づいた高度な倫理性を持ち、科学的基盤に基づいて医療、医学研究もしくは教育を実践できる。				医療倫理学の成立や発展の経緯について理解し、基本的な概念について説明できる。	
	【保健学】高い倫理観と専門的知識や技術、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力などの高度な実践能力を有する。				医療倫理の原則に基づき、医療現場での倫理問題の解決のために、具体的な実践ができる。	
(2)授業の概要	1. 生命倫理学 / 医療倫理学の成り立ちについて概説する。 2. インフォームドコンセント, パターナリズム, 研究不正など, 生命倫理関連の代表的な概念およびトピックスのいくつかについて, それらの歴史と現状について映像教材を用いて解説し, 受講者同士でも意見交換をおこなう。 3. 医療現場でおきる倫理問題解決のために, 本授業で学んだことを応用して現実の問題に対応できる素養を養う。 本授業は, 担当者が学内外の倫理委員会等の委員として経験した実務を活かして展開する。					
(3)達成目標 (一般学習目標 G I O)	医療倫理学 / 生命倫理学の素養を身につけるとともに, 当該領域に関する「情報収集能力」「分析能力」「(グローバルな) 情報発信能力」を養い, 医療現場で起きる倫理問題解決のための方法論を学ぶ。					
(4)達成目標 (個別行動目標 S B O s)	1. 生命倫理学 / 医療倫理学の成り立ちについて説明できるようになる。 2. インフォームドコンセント, パターナリズム, 研究不正など, 生命倫理関連の代表的な概念およびトピックスについて, それらの歴史と現状について説明できるようになる。 3. 医療倫理関連問題解決のための方法論を医療現場で応用できるようになる。					
(5)授業計画	第 1 回 医療 / 生命倫理学入門 4 月11日 (土) 4 限 中込 第 2 ～ 3 回 医療現場の倫理 1 5 月23日 (土) 3-4 限 ゲスト講師・中込 第 4 ～ 5 回 医療現場の倫理 2 5 月30日 (土) 4 限 中込 第 6 ～ 7 回 APLIN e-Learning プログラム (e-APLIN) を実施し、修了する。 第 8 ～ 9 回 生命倫理学概説 (6 時限) ゲノム時代の生命倫理 (7 時限) 					

(8)成績評価の方法	毎回のコメントペーパー30%，レポート課題30%，期末レポート40%。 総得点の60パーセント以上を合格とする。
(9)成績評価の基準	レポートについては，おおむね次のように評価します。 (i) 問題の設定が適切であり，(ii) その問題の背景を説明できており，(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており，(v) その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある（可）」。
(10)学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	日時および場所の設定がかなり不定期になります（直前の変更もあり得ます）ので，第1回目の授業でのアナウンス，掲示および連絡のメール等にご注意ください。 やむを得ず欠席の場合は，別日に補講を行いますので，必ず事前に（やむを得ない事情の場合は欠席後なるべく早く）連絡してください。 質問および欠席の場合の事前連絡等はメール（中込：snakagomi@shinshu-u.ac.jp）で受け付けます。
【テキスト，教材，参考書】	教科書はとくに指定しませんが，参考書等は授業中に紹介します。